

土の物語ーヒメナ&スティーブナー “Terram Fabulas” -Ximena & Steven

会期：平成 26 年 11 月 15 日（土）～平成 27 年 1 月 11 日（日）

開催趣旨



チリ生まれのヒメナ・エルゲダと、アメリカ生まれのスティーブナー・ウォードは絵画、彫刻、塑像、建築などジャンルに捉われず幅広い作品を制作する芸術家です。ヒメナは 1994 年に名古屋芸術大学の美術学士修士奨学金生として、スティーブナーは 1995 年に滋賀県立陶芸の森のレジデンスアーティストとしてそれぞれ来日し、以来日本に定住し活動をしています。彼らは土を素材にした共同制作によって、小作品だけでなく巨大な空間造形作品にも取り組んできました。彼らの代表作である「山の広場 (Mountain Plaza)」は野外劇場の舞台背景にあたる巨大な音響板を 60 トン以上の粘土で制作するプロジェクトです。愛知県知多郡美浜町布土の里山で 2010 年に制作が始まったこの作品は、高さ 3

メートル、長さ 13 メートルという大きさと、焼成まで 14 年を要しました。

2 人が作品制作の中で大切にしているのは、作品それ自体の造形的な美しさだけではなく、対話的な共同制作の中で作品を生成してゆくプロセスと、制作作業の中で生まれるコミュニケーションです。特に「山の広場」は彼ら 2 人だけではなく、友人・知人・ボランティア・学生など多くの人々が制作に関わりました。彼らは土を練り上げ、造形するという触覚的な作業を介して、人と繋がり、大地や自然と共鳴するのです。本展では 2 人のこれまでの作品、絵画、彫刻、塑像約 100 点に加えて、アースワークのプロジェクトを制作風景や映像とともに紹介します。



※すべての画像の無断使用を禁止します

展示構成 1 階ホール：共同制作インスタレーション作品
2 階展示室：ヒメナ・エルゲダ／スティーブナー・ウォード／共同制作作品
ギャラリー：パブリックアート／「山の広場」の紹介
シアター：映像記録「山の広場 14 年の軌跡」

展示点数 約 100 点

主催 高浜市やきものの里かわら美術館、朝日新聞社

後援 愛知県教育委員会、高浜市、高浜市教育委員会、高浜市観光協会、NHK プラネット中部、名古屋鉄道株式会社

協力 株式会社ライフワークス

観覧時間 午前 9 時から午後 5 時まで（観覧券の販売は午後 4 時 30 分まで）

観覧料 高校生以上 500 円（400 円）、中学生以下無料

※（ ）内は前売り、高浜市内居住者および 20 名以上の団体料金

※75 歳以上の方、各種障がい者手帳をお持ちの方ほか、各種割引あり

※観覧券は当館のほか刈谷市美術館（前売のみ）、チケットぴあ、サークル K サンクス、セブン-イレブンでも販売（11 月 14 日（金）まで前売り料金、会期中は当日料金）【P コード 766-443】

休館日 月曜日、11 月 25 日（火）、12 月 28 日（日）～1 月 1 日（木）
（11 月 24 日は開館）

関連行事（仮）

（１）パフォーマンス・プレゼンテーション

日 時：11月15日（土）・11月16日（日）
両日とも午前10時～正午まで
講 師：ヒメナ・エルゲダ、スティーブン・ウォード
場 所：（未定）
参 加 費：無料
内 容：（未定）
申 込：不要



※画像の無断使用を禁止します

（２）ワークショップ「タイトル未定」

日 時：12月14日（日） 1時30分～4時
講 師：ヒメナ・エルゲダ、スティーブン・ウォード
場 所：（未定）
参 加 費：無料
募集人数：高校生以下30名
内 容：（未定）
申 込：11月9日（日）午前9時より、電話にて受付します。

（３）小さなワークショップ「リサイクル品で南米の楽器チャフチャスをつくろう！」

日 時：12月20日（土）午前10時～正午、午後2時～4時に随時開催
講 師：当館学芸員
場 所：1階ロビー
参 加 費：無料
内 容：南米の打楽器チャフチャスをペットボトルの蓋や洗濯ばさみなどのリサイクル品
を使って作ってみよう！
申 込：不要

（４）ロビーコンサート

日 時：12月21日（日）①11：30～（トランペット）②14：00～（トーンチャイム）
場 所：1階ロビー
参 加 費：無料
内 容：かわら美術館コンサートボランティアによるクリスマスコンサート

（５）ギャラリートーク

日 時：12月6日（土）・1月10日（土）いずれも午後2時～
場 所：展覧会会場
参 加 費：無料（ただし当日観覧券が必要）
内 容：学芸員が展示のみどころをご案内します。

問合わせ先

高浜市やきものの里かわら美術館
教育研究課 担当 今泉岳大
〒444-1325 愛知県高浜市青木町九丁目6番地18
TEL (0566) 52-3366 FAX (0566) 52-8100

以上